


[第2話]

52

# オトシ打ち

(相手をハメるイカサマ打ちの意)



奴らの打ってるのは  
麻雀じゃねえ  
もんなあ





朝になったら  
カーテンを  
閉めるってのも  
身についた  
習慣か――



好き嫌いは  
おいしい話を  
逃すぜ

おいしいって  
麻雀ですか!?

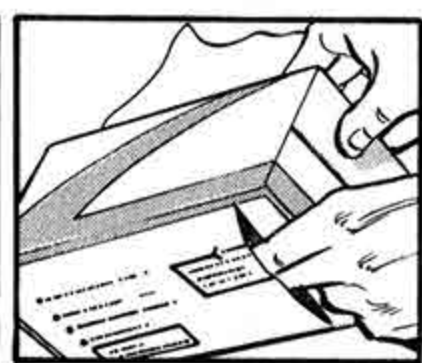


携帯くらい  
持てよ  
それか留守録  
にするかな

電話が  
あまり好きじゃ  
ないもんで

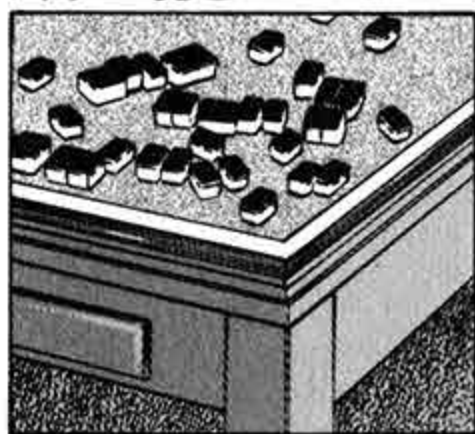


あつ  
黒沢さん





# オトシ打ち













大切に打てば  
一旦上がった運量は  
なかなか下がらない

緩急を効かせ  
ツモれそうな牌姿でも  
ダメにする

ツモ

まいったな  
3面張を  
闇テンの  
ピンツモですか



闇雲な  
リーチより  
ダマツモのほうが  
点数以上に  
相手に与える  
ダメージは  
大きいものだ



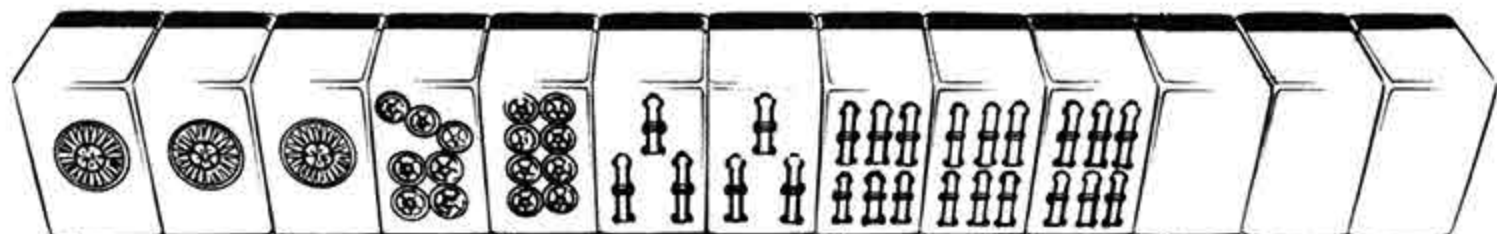
そして  
決め手牌の時は  
ダマツパネでも  
リーチを敢行

よし<sup>ドラ</sup>2枚の  
4000・8000



危ねえ危ねえ  
そんな手が  
入っていたのか

これで  
おいそれとは  
俺のリーチに向かつて  
これなくなる



締めくくりは  
オーラス7巡目  
3暗刻出来合い  
の手牌が：

ヒュ〜〜  
今日のツモは  
また格別だぜ



おいおい  
歌舞伎町に続いて  
俺の前でスツタン  
を連発かい

ツモです



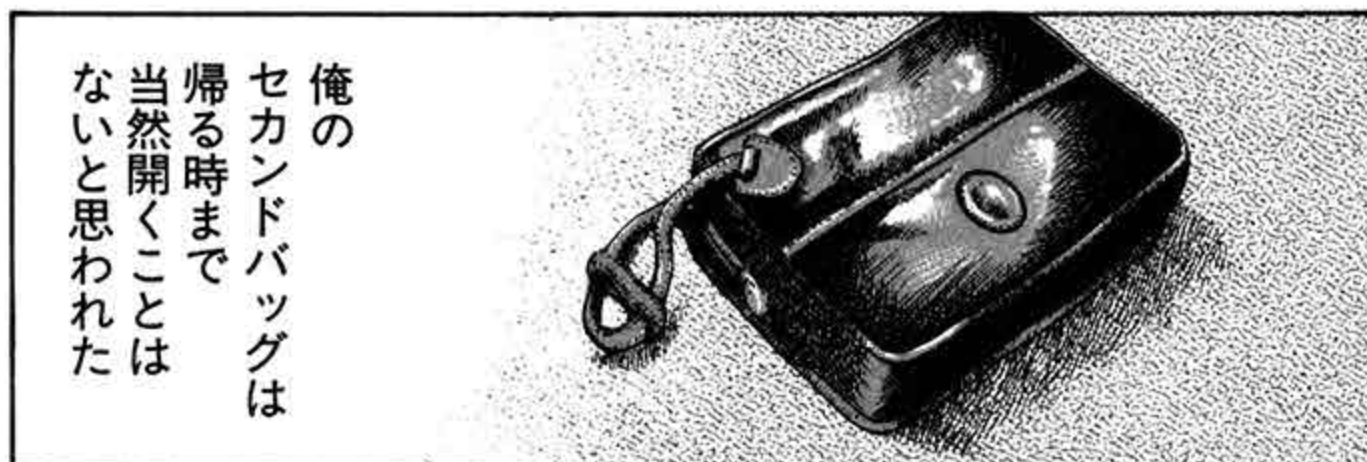
箱寸前に  
3000円まで  
徴収されちゃあ  
資金が持たねえ  
かもしれないな

何言ってやがる  
朝いちに銀行行きや  
腐るほど金は  
あるくせに

強い！  
僕はこんな人と  
打ちたかつたんです

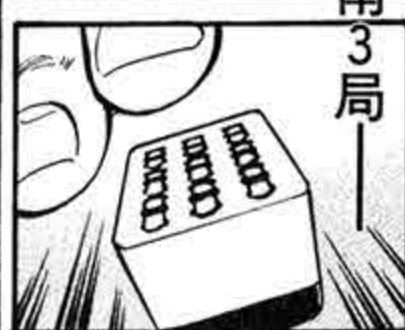


# オトシ打ち





オトシ打ち





半荘に2度の  
役満放銃…！

これはすでに  
俺の未体験ゾーンに  
入っていた

オトシ打ち



だとしたら  
黒沢さんは  
承知なのか？



それとも  
こいつら  
やってる？

偶然？



そして  
3回戦の  
東パツ

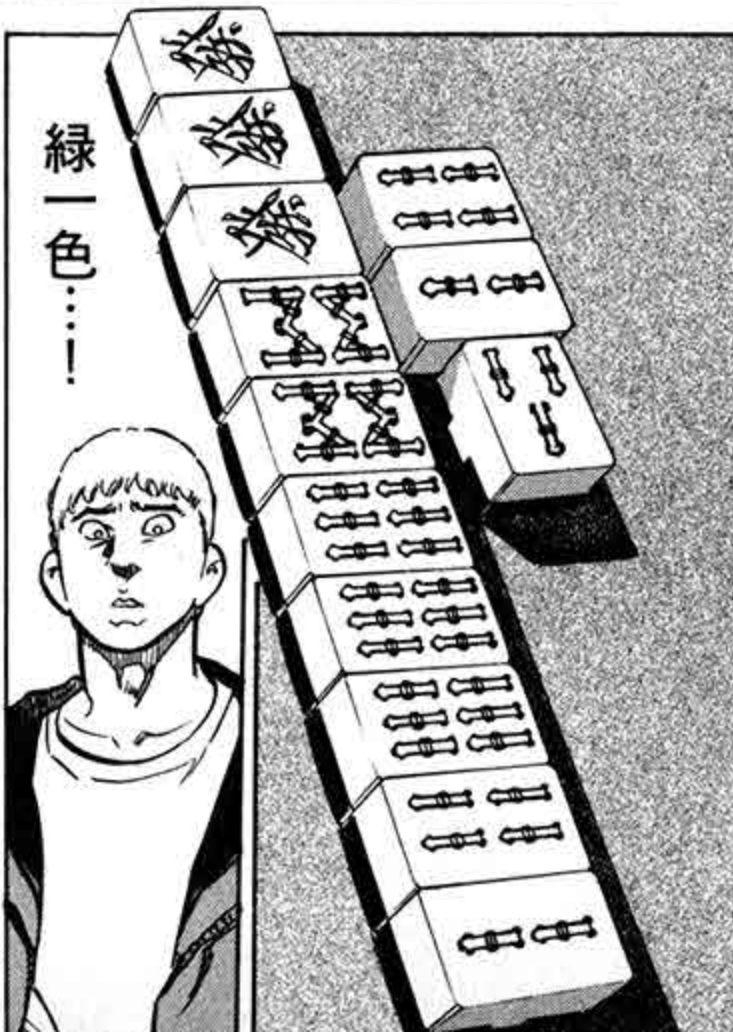


それは俺に  
対して  
ちよつと  
甘いんじや  
ないかな

え!?



あつ



緑一色……!



この手は…

歌舞伎町で  
裏メンの塩谷が  
ツモった緑一色の  
形そのまま…!

ツモだ



そういうこと  
なんですか…

分かりましたよ

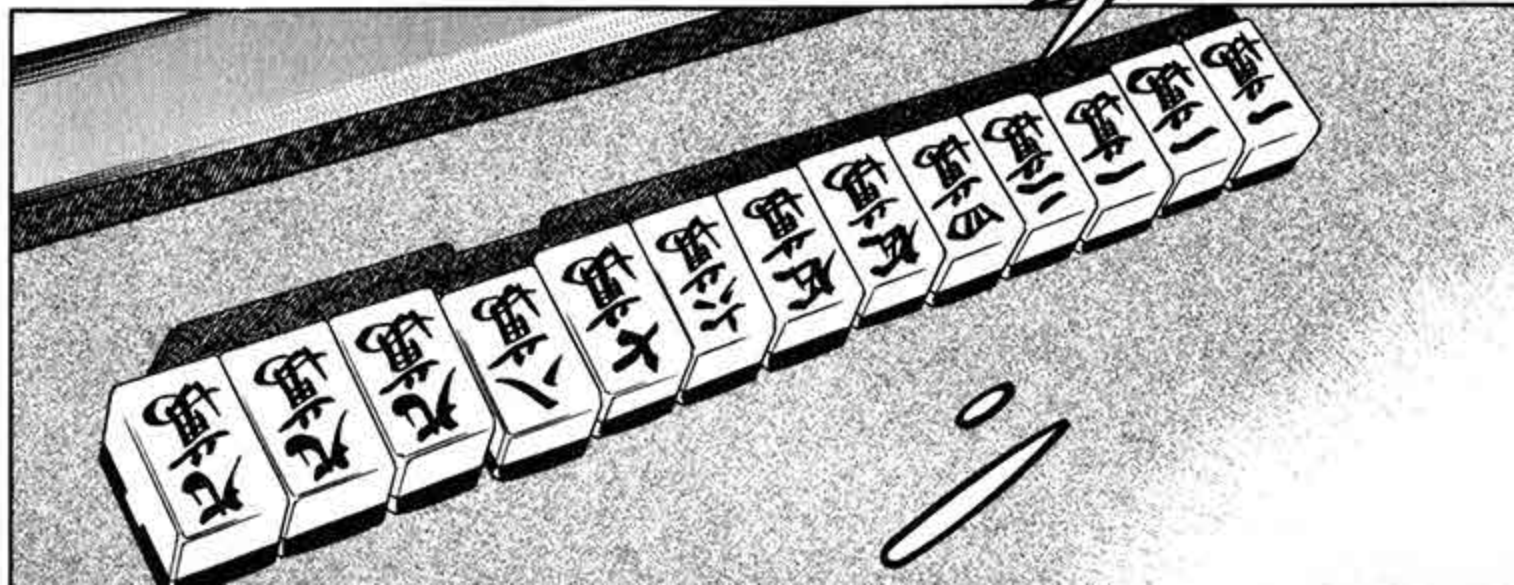
拾いやツミコミが  
行なわれている以上  
俺は目を皿の様に  
卓上を監視しつづけた

洗牌も  
嫌われるほど  
混ぜまくった

しかし逆にこいつらは  
俺の悟りを  
感づいたように  
3倍の速さで山を  
積み上げていく

遠慮容赦は  
なかった

※欲しい牌を河から拾うイカサマ。

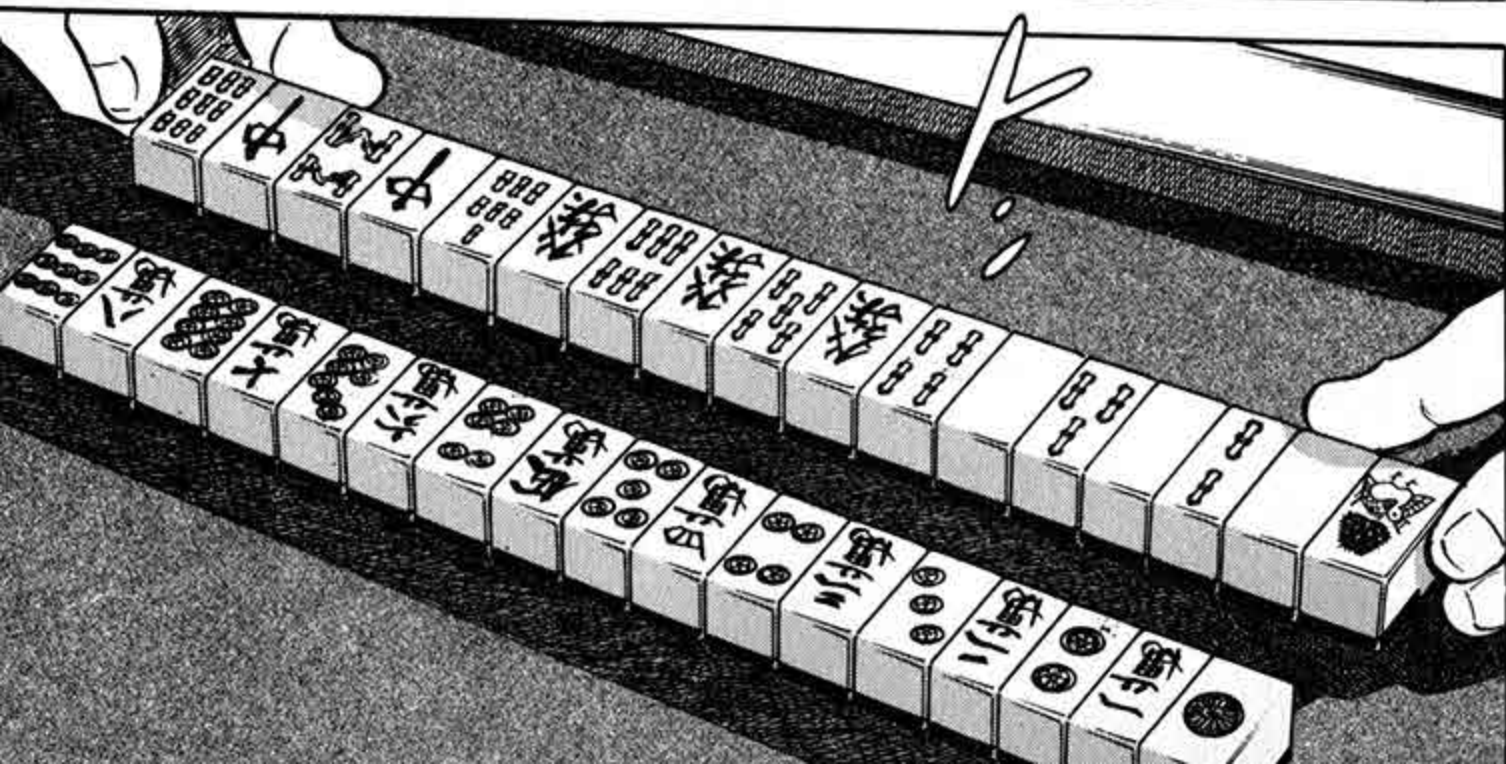






# オトシ打ち

※自分のツモ筋に欲しい牌を仕込むこと。



\*千鳥に入ってる  
だけじゃなく  
並び順まで  
正確だろ

※元禄と同意語。



信じられない



と言うことは  
9トンの  
これが中心に  
なるわけですね



外筋  
↑  
内筋

覚えると  
意外に簡単  
なんですよ

沖本さんは  
外筋・内筋は  
分かりますよね

ああ  
山の17トン 右から  
奇数番が外筋で  
偶数番が内筋…



# オトシ打ち

中心が決まったら  
あとは両手で  
4枚ずつ  
集めれば  
いいだけで…

でもそれじゃ  
あんなに早い巡目の  
役満は……

元禄は  
自分のツモ筋への  
ツミコミですよ



朝から晩まで  
オタクのように  
練習してりやあ  
巧くなるわな



しかし  
ほとんど伏せ牌  
だったし…

だったら配牌を  
ツミこみやあ  
いいだけの話





そんなときや  
こうやるんだよ

□オトシ打ち／完

第3話

ドラ爆  
18枚積み

一萬

ドラ爆18枚積み

五萬

六萬

七萬

八萬

九萬